

1 研究開発プロジェクト名:

ホスピタルティプロジェクト

2 当該年度の研究開発プロジェクト実施予定期間:

2015年4月1日から2019年3月31日 / 4年計画の4年目

3 応募者

氏名	美原 盤
所属機関	公益財団法人 脳血管研究所
所属部局	美原記念病院
職名	院長

4 研究開発プロジェクトの概要

2025年にピークを迎える超高齢社会を乗りきるためには、単に医療機関や行政が医療・福祉サービスを充実させるだけでなく、地域の生活者・患者の協力を仰ぐことが必要になってきている。すなわち、患者自身に行動変革をうながし、医療・福祉サービスの需要を抑え、医療のさらなる効率化をはかることが重要になってきている。本研究では、脳血管疾患等のリハビリテーション領域において、新たなロボット技術を活用することで、治療の効率化がはかれるか、ということを中心とし、2015年より4年計画で、公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院と株式会社電通のスタッフが業界の垣根を越えて産学連携を行い、世界に先駆けた新たなアプローチで医療に切り込んでいる。いかにして患者に医療従事者と共に前向きに治療に取り組んでもらうか、ということは医療界にとって長年の課題であったが、技術の進歩によって、今までなしえなかったアプローチが可能になった。具体的には、ロボットが患者の気持ちを高めるような患者個別のメッセージを話すことで、リハビリテーションに取り組む患者のモチベーションが高まり、その結果脳血管疾患等リハビリテーションの治療アウトカムを向上させる可能性について検討している。本研究の有用性が示されれば、生活者・患者に貢献するだけでなく、膨らみ続ける社会医療費の削減にも貢献できることが期待される。